

細腕なんて言わせない!!

275



「辛いこともありましたよ、それは。でも、今の私たちは、後を継ぐ人たちに、しっかりつないでいかないと」と、将来を見据え明るく語る、草野さん

次世代につなぎたいんです

「進むのは、この道でした」と話す

草野 祐香利さん

■ Commune with 助産師 理事長（助産院長）
■ いわき市平谷川瀬字仲山町二〇ノ一

電話／〇二四六一三三一三三〇三

「高校のころ、自分の進路については決まっていませんでした。そんな時、母親から技術的なものを身に付けたいんじゃないのと言われて…。大学でも教育か、助産師かで迷いましたが、結局この道へ。これからは後進にどうつないでいくかが課題と思っています」

穏やかな表情の中で自らの思いを語り続ける、草野祐香利さん（五一）は、一九八八年に立ち上げたNPO法人「Commune with 助産師」という組織のトップの一人として、妊婦や赤ちゃんの健康相談などのケア、サポートに余念がない。

草野さんは市内の高校を卒業後、茨城の筑波大学医療技術短大看護学科に進む。ここで三年間、関連の知識を得、看護師、助産師としての資格を取得した後、札幌にある天使女子短大専攻科衛生看学を学んだ。

卒業後は、市内の公立病院の助産師、さらに、市立小学校の養護助教諭として、また、地元の短大の保健室にも勤務した経験を持つ。

「公立の病院で助産師として務めていた当時は、お産などにも立ち会いましたし、社会に自立もしていない若い女性たちの妊娠や、その後についてといった問題なども含め、いろいろ体験してきましたねえ」

「ライフワークです」

こう述懐する草野さんは、その後、市内のマタニティークリニックに勤務する傍ら、市の委託助産師として新生児や乳幼児訪問活動に従事していた。そんな折、次女を助産院で出産したことが大きなきっかけとなり、「私が進むのは、やはり助産師。この道に戻ろう」と、本格的に歩み始める。

二〇〇九年にNPO法人が認可されると、仲間と組織を設けて理事長に就任。

賛同した知人の多大な支援もあって、翌年八月には同所に三階建ての施設も新設。現在、

彼女を含め、常時七人の看護師がいる「こみゅーん助産院」「ホームスタート・こみゅーん」で対応。

ただ、この施設では

出産についてはまだ行っておらず、「女性と赤ちゃんの健康をサポートする」ことが主。内容はプレマタニティー教室、妊婦健診、妊産婦健康教室、授乳相談、産前産後の入院ケアなど幅広い内容だ。開設以来、年間の利用者は電話による相談、来訪ともに三百〜四百件。入院は年間延べ五十件など。大半は市内だが、



里帰り、避難している相双地区からの女性たちも。

自らの歩みを飾ることなく淡々と話す草野さんだが、これまでに辛（つら）い思い出も少なくなかったように、「十代同士の望ま

ない妊娠も何度かありましたね…。県内でもいわきは特に中絶が多いんですよ。保健関連の教育、指導も大事ですね」と言って、表情を硬くした。

命の尊さを含め、真摯（しんしん）に話す彼女の今の大きな目標の一つは、「院内助産室」と、きっぱり。また、この仕事に関しては、「忘れたいこともありません。あるいは亡くなったたり、助けられたい。でも、今は私のライフワークであり、やり遂げ、そして次の世代につないでいくのが務めと思っています」と、丸い笑顔を披露しながら話していた。



「幅広い内容なつぽろ」

妊婦、赤ちゃんを しっかりサポート

プロフィール

くさの・ゆかり

1965年6月9日生まれ。内郷出身。社会に出てからは、公立、私立の医療機関で合わせて600件以上のお産に対応してきた「ベテラン助産師」。組織の運営については「厳しい経済事情です」と、苦笑しつつ、「時間通りには帰宅できません」。学生時代は山登り愛好の自然派。夫の武史さん(51)との間に2女。得意な料理は「和食ですね」。O型

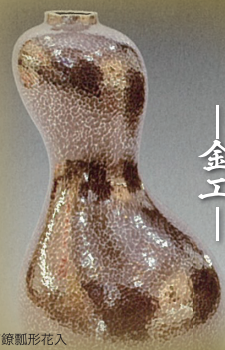
■お知らせ=このコーナーでは、自ら選んだ仕事に、あるいはその人生においてひた向きに励み、努めている女性を紹介しています。情報をお寄せください。

※このコーナーは隔月掲載です。

襲名記念

ごろうさぶろう

十六代 金谷五良三郎展
—金工—



南線瓢形花入

■会期
平成29年5月11日(木)〜16日(火)

■作家来場
5月11日(木)〜14日(日)

寛永年間(一六二四〜一六四三年)、京都に創業以来、代々、技術の保持とともに、特有の着色法、技法の開発に努め、多くの国内外博覧会に出品。明治六年にはウィーンの万国博覧会で「進歩賞」を受賞する等、数々の功績を残す。十六代となる現在も、日々、技術開発に努め、お茶道具をはじめ、神仏具、文化財修復(復元)、古美術品修理、複製等、金工品全般を手掛けている。



南線糸目罌



緋銅煉竹蓋置

いわきに於いて、初めての襲名展を催す運びとなりました。厚かましいことは存じますが、作品を披露させていただきます。お楽しみください。

金工として約二十年修業をしてまいりましたが、代を継ぐものとしては、まだまだ未熟な私でございます。ご多忙のことは存じますが、何卒ご高覧の上、ご指導の程、宜しくお願ひ申し上げます。

平成二十九年五月吉日

十六代 金谷五良三郎

有限会社 小野美術

営業時間/午前10時〜午後6時(最終日は午後5時閉場)

いわき市平字中町22番地の2 Kビル1F
☎0246-35-0383
HP: http://onobijutsu.jp e-mail: info@onobijutsu.jp